

FDD

Faculty Development
news



vol.8

〈発行日〉2022年3月
〈発行者〉上智大学FD委員会

授業アンケートの全学化、2022年度開始

2021年度 秋学期 講演会 実施報告

「新しい学び」実践ワークショップ
ジェンダーの視点を変えた政治学の授業
"reasonable"なシラバスの書き方
EMI-Share

全学共通科目 授業アンケート 集計結果

上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

授業アンケートの全学化、2022年度開始

これまで学部等ごとに独自の授業アンケートが実施されてきましたが、2022年度よりFD委員会が実施主体となり共通の設問によるアンケートを全学的に実施することになりました。

アンケート結果は、大学全体や学部等における教育の改善及び個々の授業運営の改善に役立てられます。

大学授業アンケート設問

Q 1

この授業における教員の説明はわかりやすかった。

Q 2

この授業に対する教員の意欲を感じた。

Q 3

教員との質疑応答や教員からのフィードバックの機会があった。

Q 4

学生同士で議論を行ったり、プレゼンテーションをしたりする等のアクティブ・ラーニングの機会(オンライン掲示板等含む)があった。

Q 5

学修した内容が在学中もしくは卒業後にどのように応用されるかを学ぶ機会があった。

Q 6

知識を相互に結びつけることにより、多様なものの見方や考え方が身につく授業だった。

Q 7

他者や自分の意見を十分に吟味して客観的・論理的に思考する力(クリティカル・シンキング)が身につく授業だった。

Q 8

私はこの授業で主体的に(自分なりの目的を意識して持続的に)取り組んだ。

Q 9

シラバスで示されたこの授業の到達目標が身についた。

Q 10

この授業を受けて知的に刺激され、深く勉強したくなった。

Q 11

この授業1回に対して授業時間外に費やしたすべての時間(友人との意見交換、参考図書の精読等も含む)は、どれくらいですか。

Q 12

この授業の受講を検討している人がいたら、勧めることができる。

Q 13

Q12の回答の理由(良い点・改善の必要な点)を教えてください。(400字以内)

2021年度 秋学期 講演会 実施報告

URLが記載されている講演会の動画は「FD委員会HP>動画アーカイブ」からもご視聴いただけます。

「新しい学び」実践ワークショップ

日程 2021年11月1日(創立記念行事)

実施方法 オンライン開催

講師 田村 恭久(理工学部情報理工学科)

「現代に求められている教育とは何か?」という大きな問いについて、グループワークを通じて理解を深め、先生方が授業での実践につなげるヒントを見つけることを目的として実施された。参加者は、事前に資料・動画を視聴し、当日はその内容を踏まえたグループワークにより、「協働学習」「クリティカル・シンキング」等の「新しい学び」の導入例や導入するうえで困難な点・配慮しなければならない点等の意見交換・共有が行われ、その後グループごとに議論した内容についての全体発表が行われた。

事前視聴動画、当日の趣旨説明、及び全体発表の様子については下記URLからご視聴いただけますので、是非ご覧ください。

事前
視聴
動画

Part 1「事前説明」

<https://youtu.be/Hk9zGz8HbOY>

Part 2「上智における「新しい学び」」

<https://youtu.be/d3TUYE86DWw>

Part 3「授業に取り入れたい具体的な活動」

<https://youtu.be/PthMXOruTQ4>

講演会
動画

<https://youtu.be/hZ0TTnW5sgY>

ジェンダーの視点が変えた政治学の授業

日程 2022年1月21日 実施方法 オンライン開催

講師 前田 健太郎 氏（東京大学大学院法学政治学研究科 教授）

進行 小川 公代（外国語学部英語学科）

開催 上智大学FD委員会（共催：グローバル教育センター、外国語学部）

日本の大学における政治学の授業をジェンダーの視点から捉えなおす

現在の政治学の授業の多くは、ジェンダーの視点が欠如してしまっている。また、現在起きているジェンダーの問題についても、ジェンダーに関する知識が乏しいために、悪意がないにもかかわらず、差別的な行動・発言をしてしまうことが原因で起こっているケースも多い。また、知らず知らずのうちに、差別的な行動・発言をしてしまい、ジェンダーへの苦手意識が生まれてしまうという悪循環も起こっている。このような問題を解決するためには、学生のうちから、ジェンダーについて学ぶことが大切である。

ジェンダーの視点の大学教育への取り入れ方

現在、東京大学のシラバスを「ジェンダー」というキーワードで検索すると、特定の開講元以外ではほとんど開講されている科目がないことがわかる。学生は、ジェンダーについて学ぶ機会を自分から得なければ、ジェンダーについて学ぶことなく知識が乏しいまま、卒業することが可能な状態である。

どのような授業でも、ジェンダーの視点から問題を再検討する機会を作ることが必要で、非専門家もジェンダーについて学び、授業に取り入れていくことが必要である。授業に取り入れる方法として、「ジェンダーについてのトピックを授業の1回を使って扱う方法（授業の内容を縦に伸ばす方法）」「どんな現象でも分析できる理論的な「視点」として用いる方法（授業の内容を横に伸ばす方法）」がある。授業を作り直すコストは高いが、より多くの学生がジェンダーについて学び、より多くの視点に開かれた大学に変化していかなくてはならない。

ジェンダーの視点が変えた政治学の授業

オンライン開催 (Zoom) 2022年1月21日 (金) 12:45~13:35 (50分) 講演 13:35~14:15 (40分) 本学学生の発表/全体質疑応答

近年、ジェンダーという言葉を様々な場面で聞くようになりました。しかし、多くの大学生にとって、授業の中で男女の平等や性の多様性に関する問題に触れる機会は、ジェンダーをテーマとする専門科目を受講しない限り、決して多くありません。私が専門とする政治学でも、民主主義の成り立ちや、選挙における有権者の投票行動が、あたかも男性による支配や女性に対する差別とは関係がないかのように解説する授業の方式が主流となっています。では、そのような（主流派）の授業にジェンダーの視点を取り入れることは、何を意味するのでしょうか。授業を担当する教員は、具体的に何を伝えればよいのでしょうか。今回は、政治学の分野における一般的な概説科目の内容を題材に、私の経験についてお話しします。

講師 前田 健太郎 氏（東京大学 大学院法学政治学研究科 教授）
司会者 小川 公代（外国語学部英語学科 教授）

プログラム 講演後に、本学学生の実践経験に基づく発表と、講師との意見交換を行います。また、全体の質疑応答の時間も設けます。

対象 全教職員

主催 上智大学FD委員会（共催：グローバル教育センター、外国語学部）

申し込み 以下のURLよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/cnLkztb2Ai>
お申し込みいただいた方に、メールにてZoomのID/PWをご通知いたします。

問い合わせ 学事センターFD担当 sophia_fd@ml.sophia.ac.jp

講演会動画 <https://youtu.be/0YvXvqYrPbl>

"reasonable"なシラバスの書き方

日程 2022年1月21日 実施方法 オンライン開催

講師 澤田 稔（総合人間科学部／課程センター長）

開催 総合グローバル学部（共催：上智大学FD委員会）

シラバス作成に関する基本姿勢

授業の準備や学生対応はもちろんのこと、大学の建学の理念や各学部・学科で重要視されていることの実現が重要である。

シラバスに沿って授業を厳密に進めることが、必ずしも授業の充実につながるわけではない。

そのため、シラバスを記載する際は、講義スケジュールが変更される可能性も考慮し、これまでの授業で直面した課題を事前に解決できる工夫が必要である。

現在の初等中等教育における単元構成・単元導入部（初回授業）に関する基本的な考え方

能力論、及び能力評価論の変化を背景とした「知識基盤社会・知識社会への移行に伴う変化」が現在の初等中等教育、高等教育の流れを形成している。

この流れを鑑み、単元導入部の基本的な考え方として、「逆向き設計」論で整理された授業構想を、初回授業にて受講者に対し共有することが大切である。

「逆向き設計」論とは、最初に到達目標を決めてから、何を学んでいくか、どのように評価するかを決めるという手法で、受講者に対して到達目標を達成するために何を学ぶべきかという視点を与えられ、到達目標の具体的なイメージの明確化や学習の動機づけにもつなげやすいというメリットがある。

当日の動画は、URLからご覧いただけます。
具体的に講師のシラバスや授業構成方法も紹介されておりますので、是非ご視聴ください。

<https://youtu.be/CTON7kp-hgA>

EMI-Share

日程	テーマ	講師／ファシリテーター
2021年9月17日	英語で授業をする教員のランチタイム Online 交流会 Teaching in English Lunchtime Online Gathering	川西 諭 (経済学部経済学科)
2021年11月22日	Language awareness in EMI: Theoretical concepts and practical tips for content specialists	池田 真 (文学部英文学科)
2021年12月15日	Changing approaches to assessment in EMI: putting our experiences into better practice "post-pandemic" whilst maintaining academic integrity	Morgan L. THOMAS (理工学部物質生命理工学科)
2022年2月21日	オンラインおよび対面学習における自律学習について振り返る Encouraging autonomy in online and face-to-face learning	Maria Manzon (総合人間科学部教育学科) 逸見 シャンタール (言語教育研究センター)

学生からの声 授業アンケート 集計結果

2021年度秋学期全学共通科目授業アンケートについて
このたび集計結果がまとまりました。
ご協力下さった学生、教員の皆様に深く感謝申し上げます。

〈対象科目総数〉285科目(実数*283)
〈回答対象者数〉19,752名
〈回答者数〉5,968名
〈回答率〉30.2%

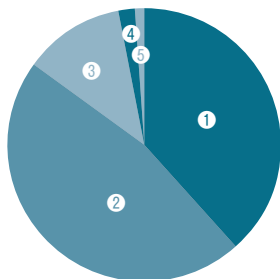
※登録コード・科目名が異なるが、担当教員・授業時間が同一の科目を実数と数える。

過去3回の推移

	2019年度・春学期	2020年度・秋学期	2021年度・春学期
対象科目総数	246(実数242)	295(実数291)	268(実数267)
回答対象者数	19,457	20,719	23,392
回答者数	10,534	7,225	8,245
回答率	54.1%	34.9%	35.2%

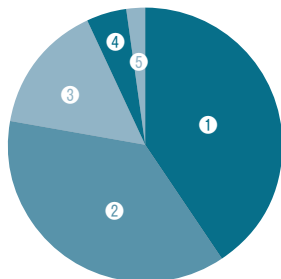
この授業を通じてシラバスで示された
到達目標(授業の目標)の知識・能力が身についた。

- ① とてもよくあてはまる (2,296) 38.5%
- ② ややあてはまる (2,785) 46.6%
- ③ どちらでもない (715) 12.0%
- ④ あてはまらない (119) 2.0%
- ⑤ 全くあてはまらない (55) 0.9%



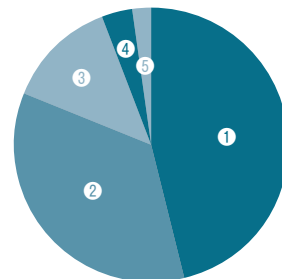
この授業を受けて知的に刺激され、
深く勉強したくなった。

- ① とてもよくあてはまる (2,432) 40.8%
- ② ややあてはまる (2,218) 37.2%
- ③ どちらでもない (906) 15.2%
- ④ あてはまらない (288) 4.8%
- ⑤ 全くあてはまらない (124) 2.1%



この授業の受講を検討している人がいたら、
勧めることができる。

- ① とてもよくあてはまる (2,764) 46.3%
- ② ややあてはまる (2,082) 34.9%
- ③ どちらでもない (774) 13.0%
- ④ あてはまらない (223) 3.7%
- ⑤ 全くあてはまらない (125) 2.1%



アンケート 集計結果の詳細

ご担当科目：Loyola ⇒ アンケート/各種申込 ⇒ アンケート集計結果照会

全体総括：FDホームページに掲載 <http://www.fd-sophia.jp/education/survey/report.html>



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学 学事センター(FD推進担当)

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL.03-3238-3522 FAX.03-3238-3264

<http://www.fd-sophia.jp/>

